

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月16日 (2009.7.16)

【公表番号】特表2008-546473(P2008-546473A)

【公表日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518192(P2008-518192)

【国際特許分類】

A 4 7 J 27/00 (2006.01)

B 6 5 D 51/16 (2006.01)

B 6 5 D 43/03 (2006.01)

B 6 5 D 43/06 (2006.01)

B 6 5 D 81/34 (2006.01)

A 4 7 J 47/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 27/00 1 0 7

B 6 5 D 51/16 Z

B 6 5 D 43/03

B 6 5 D 43/06

B 6 5 D 81/34 U

A 4 7 J 47/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月1日 (2009.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器蓋及び容器ベースを備える通気可能な容器であって、

前記容器蓋は中央パネル及び該中央パネルを包囲する周辺の第 1 閉止部を含み、該第 1 閉止部は第 1 シール面を有し、

前記容器ベースは底、該底から伸張する周辺側壁、開放された上面、及び第 2 シール面を有する第 2 閉止部を含み、該第 2 閉止部は前記第 1 閉止部と係合可能であり、それぞれのシール面がシール接触され漏れのない保存領域が形成され、

前記第 1 閉止部はさらに、第 1 位置と第 2 位置との間を移動可能な第 1 通気ボタンを含み、第 1 及び第 2 閉止部の係合と同時に前記第 1 通気ボタンが第 1 位置にあるときそれぞれのシール面がシール接触されたままであり、前記第 1 通気ボタンが第 2 位置にあるとき所望の量の通気を与えるべく前記第 1 通気ボタンの付近の第 2 シール面に対して前記第 1 シール面がある量だけ変位し、

前記第 1 閉止部は略逆 U 形状の断面を有するシールリップからなり、第 2 閉止部がその内部に受容されて蓋チャネルが形成される、ことを特徴とする通気可能な容器。

【請求項 2】

前記容器蓋は少なくとも一つのグリップタブを含み、前記第 1 通気ボタンは前記グリップタブに近接して配置される、ことを特徴とする請求項 1 記載の容器。

【請求項 3】

前記容器蓋は熱成形されたプラスチックから成る、ことを特徴とする請求項 1 記載の容器。

【請求項 4】

前記容器蓋は射出成形されたプラスチックから成る、ことを特徴とする請求項 1 記載の容器。

【請求項 5】

容器蓋及び容器ベースを備える通気可能な容器であって、

前記容器蓋は中央パネル及び該中央パネルを包囲する周辺の第 1 閉止部を含み、該第 1 閉止部は第 1 シール面を有し、

前記容器ベースは底、該底から伸張する周辺側壁、開放された上面、及び第 2 シール面を有する第 2 閉止部を含み、該第 2 閉止部は前記第 1 閉止部と係合可能であり、それぞれのシール面がシール接触されてリークブーフの保存領域が形成され、

前記第 1 閉止部はさらに、第 1 位置と第 2 位置との間を移動可能な第 1 通気ボタンを含み、第 1 及び第 2 閉止部の係合と同時に前記第 1 通気ボタンが第 1 位置にあるときそれぞれのシール面がシール接触されたままであり、前記第 1 通気ボタンが第 2 位置にあるとき所望の量の通気を与えるべく前記第 1 通気ボタンの付近の第 2 シール面に対して前記第 1 シール面がある量だけ変位し、

前記第 1 通気ボタンは前記蓋チャンネルの面と一体として形成され、隆起部を包囲する縁部を含むめくり返し可能なドームからなり、前記隆起部は前記縁部により形成される平面から突出しており、前記隆起部はさらに該隆起部の最外突出部を形成する頂点を含み、前記頂点は、前記第 1 通気ボタンが第 2 位置に移動するとき、前記第 2 閉止部の面と接触するよう適応される、

ことを特徴とする通気可能な容器。